

平成17年度新規採択事業 評価調書

(平成16年度 新規採択時評価実施)

事業の概要

事業名	道路事業 一般国道162号 栗尾バイパス		
事業区間	自：右京区京北細野町 至：右京区京北周山町	延長, 幅員又は面積	延長L = 4.0 km 幅員W = 10 m (予定)
総事業費	C = 10,000百万円	完成予定年度	平成26年度
事業概要 (目的・内容等)	<p>本路線は、古来から周山街道と呼ばれ、京都市内から京北町を経由して福井県敦賀市に至る基幹道路であり、地域の産業、生活、文化の発展を支え、沿道には有名な観光地を抱えている。しかし、当該箇所は山間地という地理条件のため平面線形が悪く、走行性が劣る。また、冬季には交通事故が多発している。地域住民からの改良要望は強いが、地形上現道を拡幅することは難しい。そのため、バイパスによる道路整備を行い、安全で快適な通行を確保するものである。</p>		
箇所図			

事業を巡る社会経済情勢等

社会背景と今後の動向	<p>モータリゼーションの進展に伴い、産業、生活面での自動車交通への依存は益々高まっている。また、高速輸送化や都市居住圏の広がりといった昨今の社会背景の中で、国道162号のような地域幹線道路でのバイパス工事のもたらす効用は、通行時間の短縮、通年に渡る走行安全性の確保等、大きなものがある。また、今後、平成17年3月には京北町との合併を控えており、市内全域に渡る地域の特性を生かした均衡ある発展に向け、都市基盤としてその整備の必要性は高い。</p>
市民ニーズ	<p>国道162号の京都・周山間の整備促進を図ることを目的として、平成9年に沿道自治会や関係町を構成員とした「国道162号(京都・京北・美山間)改修促進期成同盟会」を設立している。当該同盟会においては、毎年、本市を含めた関連行政機関に対し、地元の官民が一体となって熱意ある要望活動を展開している。その中でも、当該箇所については地元として強い整備要望を出しており、本市として、均衡あるまちづくりに向けて、冬季の通行安全性の確保と通行快適性の向上を推進していく必要がある。</p>

### 上位計画から見た事業の有効性

京都市基本計画（第4次 京北町総合振興計画）		事業ごとの上位計画	具体的な効果と受益者
大項目	小項目		
<input type="checkbox"/> 安らぎのある暮らし <input type="checkbox"/> 華やぎのあるまち <input type="checkbox"/> 市民との厚い信頼関係の構築をめざして		第4次京北町総合振興計画において、第4章 快適で住みよいまち、3 豊かさが実感できるまちの形成、施策の方向〔道路・交通網〕①広域的な地域とのネットワーク化の項目で、「国道162号の整備促進（栗尾トンネル）」が挙げられている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に不特定多数の人が利用する公共空間の防災機能強化（地元住民、利用者）</li> <li>・地域間、隣接する都市間での人、もの、情報の交流する基盤づくり（地元住民）</li> <li>・走行時間の短縮、走行安全性の向上による住民生活、経済活動の充実（地元住民、利用者）</li> </ul>

### 事業の要件

環境景観への配慮事項	<p>本事業箇所は、栗尾峠周辺の山並みが深く自然環境が豊かなところに位置することから、路線の大部分をトンネル構造とし、現況改変範囲を極力小さくすることにより、周辺環境や山並み景観への配慮を行うものとしている。</p>
市民と行政のパートナーシップ	<p>国道162号の京都・周山間の整備促進を図ることを目的として、平成9年に沿道自治会や関係町を構成員として「国道162号（京都・京北・美山間）改修促進期成同盟会」を設立している。本同盟会においては、毎年、本市を含めた関連行政機関に対し、地元の官民が一体となって熱意ある要望活動を展開している。こうした地元からの熱い要望と本市土木行政への熱い期待に応える形として、国道162号中川バイパスや川東工区に着手しており、竣工した中川バイパスについては好評を博しているところである。本事業箇所についても同様に地元として道路整備要望を出しており、こうした期待に可能な限り応えていくことが、本路線で今まで築き上げてきた市民と行政のパートナーシップを更に高めることになるものと考えている。</p>

### 事業の評価結果

評価	A
理由	<p>本路線は、京都市内から福井県敦賀市に至る本市の基幹的な北部交流軸であり、また、沿線住民の貴重な交通基盤として機能している。</p> <p>沿道自治会や関係町では、「国道162号（京都・京北・美山間）改修促進期成同盟会」を設立し、早急に道路整備がなされるよう要望活動を行っている。</p> <p>京北町との合併にあたり、当該箇所の整備は京北町の最重要課題の1つであり、合併に伴い作成を行う市町村建設計画に盛り込む最重要事業となっている。</p> <p>これらを踏まえて、本市として、均衡あるまちづくりに向け、広域的な地域とのネットワーク化を図るうえで、当該箇所の整備の必要性は高いものと考えている。</p>

### 評価指標の算定結果

費用便益比（CBR）	B/C = 1.50
------------	------------

## 事業の必要性

評価軸	評価項目	評価指標
誰もが安心して暮らせるまちづくり	環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対象道路の整備により自動車からのCO2排出量が削減される</li> <li>■現道等における自動車からのNO2排出量が削減される</li> <li>■現道等における自動車からのSPM排出量が削減される</li> </ul>
	災害に強く日々のくらしの場を安全にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対象区間が、緊急輸送道路として位置づけあり</li> <li>■現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</li> <li>■現道等の異常気象時規制区間、事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬季交通障害区間を解消する</li> </ul>
	日常生活における身近な安全や安心を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>
	歩いて楽しいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>■周辺の自然・景観との調和を保っている</li> </ul>
活力あるまちづくり	魅力ある観光を創造する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■観光地・レクリエーション基地と交通拠点間とのアクセスを向上させる</li> <li>■主要観光地間相互の到達時間の短縮に寄与する</li> </ul>
市民の暮らしを支えるまちづくり	個性と魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市役所・区役所へのアクセス向上が見込まれる</li> <li>■主要集落と区役所間の所用時間が30分をこえる</li> </ul>
市民の暮らしを支える基盤づくり	多様な都市活動を支える交通基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる</li> <li>■総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車に対応する</li> </ul>
	市民の知恵と創造性を生かした政策を形成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■計画段階から市民参加により事業を進めている</li> </ul>